

ちゅらゆいづくり関係事業 「令和6年度事業実施報告」及び 「令和7年度事業計画」

1. 犯罪被害回避能力の向上	【警察本部生活安全部生活安全企画課】	68
2. 外国人を始めとする観光客等の安全確保		
	【警察本部生活安全部生活安全企画課 地域部地域課】	70
3. 適正飲酒対策の推進	【警察本部生活安全部生活安全企画課】	74
4. 「ちゅらさん運動フェスティバル(防犯フェア)」		
	【警察本部生活安全部生活安全企画課 生活福祉部生活安全安心課 教育庁保健体育課】	76
5. 防犯活動への支援	【警察本部生活安全部生活安全企画課】	78
6. 防犯ポスター・標語・青パト活動写真の募集		
	【公益財団法人沖縄県防犯協会連合会】	80
7. 安全な観光地づくり事業		
	【一般財団法人沖縄観光コンベンションビューロー】	84
8. 「犯罪被害者支援を考える県民の集い」		
	【公益社団法人沖縄被害者支援ゆいセンター】	88
9. 犯罪被害者支援に関する市町村「出前講座」及び「法律相談」		
	【公益社団法人沖縄被害者支援ゆいセンター】	90
10. 観光危機管理体制構築支援事業	【文化観光スポーツ部観光振興課】	92

「ちゅらゆいづくり」関係事業
令和6年度事業実施報告

【警察本部生活安全部生活安全企画課】

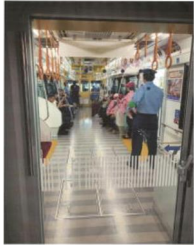
1 事業 名	犯罪被害回避能力の向上	決算額												
		816 千円 ※安心ゆいメール委託料												
2 目 的	子供の安全・安心を確保するため、犯罪被害に遭わないための回避能力及び防犯意識の高揚を図る。													
3 実施時期	通年													
4 実施結果	(1) 子供の安全対策 車両使用及び徒歩による声かけ・つきまとい事案、陰部を露出する公然わいせつ事案、肩や手等を触る身体接触事案等が発生していることから、子供を犯罪から守るための安全対策の取組を実施した。 ○ 不審者侵入・声掛け訓練 ○ いかのおすし防犯講話 ○ 子ども 110 番の家の周知 ○ 登下校見守り活動 													
	(2) 自転車鍵掛け甲子園の開催 ア 開催期間：令和 6 年 6 月 1 日から同年 8 月 31 日までの間 イ 参加校：33 校（小学校 7 校、中学校 8 校、高等学校 18 校） ウ 概要 期間中、生徒や参加校が主体となった各種施策を評価し、優勝校及び準優勝校に、ちゅらうちなー安全なまちづくり推進会議会長賞（県知事賞）を授与するもの。 <table><tr><td>結果</td><td>小学校の部</td><td>中学校の部</td><td>高校の部</td></tr><tr><td>優勝</td><td>宜野座小学校</td><td>石垣中学校</td><td>真和志高校</td></tr><tr><td>準優勝</td><td>仲泊小学校</td><td>屋部中学校</td><td>那覇工業高校</td></tr></table>		結果	小学校の部	中学校の部	高校の部	優勝	宜野座小学校	石垣中学校	真和志高校	準優勝	仲泊小学校	屋部中学校	那覇工業高校
	結果	小学校の部	中学校の部	高校の部										
	優勝	宜野座小学校	石垣中学校	真和志高校										
準優勝	仲泊小学校	屋部中学校	那覇工業高校											
エ 参加校による主な取組み ○ 生徒会と管轄警察署と連携した登下校時間の施錠呼び掛け ○ のぼり旗や生徒が作成したポスターの掲示 ○ 学級通信などによる家庭への呼びかけ														
(3) 安心ゆいメールの登録促進 防犯講話、地域コミュニティラジオ、警察連絡協議会等の場において、周知及び登録促進の働き掛けを行うとともに、特殊詐欺被害防止の広報チラシに QR コードを添付し各種イベントの場で配布。 令和 6 年 12 月現在、登録者数約 13,400 人。														
5 効 果	犯罪被害の対象となりやすい子供の犯罪被害回避能力を高めることで、被害の未然防止を図り、安全・安心な沖縄県の実現を図る。													
6 備 考	令和 6 年中、盗難自転車全体の無施錠率は 71%（前年比-7%）であり、施錠率の向上・改善を行うためには、自転車鍵掛け甲子園の実施内容を検討する必要がある。													

「ちゅらゆいづくり」関係事業
令和 7 年度 事業計画

【警察本部生活安全部生活安全企画課】

1 事業名	犯罪回避能力の向上（継続）	予算額
		938 千円 ※安心ゆいメール委託料
2 目的	子供の安全・安心を確保するため、犯罪被害に遭わないための回避能力及び防犯意識の高揚を図る。	
3 内容	(1) 子供の安全対策 子供を対象とした犯罪等は、行為者が甘言や詐言を用いるもの、暴行や脅迫、あるいは刃物等の凶器による傷害、車両を使用しての略取など極めて悪質な手口により犯罪が敢行されている実態にある。 本県においても車両を使用した声掛け、つきまとい事案、公然わいせつ事案等が発生していることから、子供を犯罪から守るため、引き続き下記の安全対策について取り組む。 ○ 不審者侵入・声掛け対応訓練 ○ いかのおすし防犯講話 ○ 子ども 110 番の家の周知 ○ 登下校見守り活動 (2) 5 つのかける運動の実施 令和 6 年中における自転車盗難被害者の 48.8% が小中高生、更に 78% が無施錠での被害となっていることから、自転車の施錠徹底を習慣化させることで、将来の沖縄県を担う児童生徒の犯罪被害回避能力や規範意識の向上を図ることを目的に開催する。 ○ 開催期間：6 月～9 月頃を予定 (3) 安心ゆいメールの登録と県警公式 SNS の登録促進 県警察では、平成 21 年から地域の安全に関する情報を迅速かつ具体的に発信し、事件・事故の未然防止や自主的な防犯活動等に活用できるよう登録会員に対し、安全に関する情報を配信している。 県民に対し、地域の安全及び自主防犯活動等に役立ててもらうため安心ゆいメールと県警公式 SNS の周知及び登録促進を図る。	
4 実施時期	通年	
5 効果	犯罪被害の対象になりやすい子供の犯罪被害回避能力を高めることで、被害の未然防止を図り、安全・安心な沖縄県の実現を図る。	
6 備考		

「ちゅらゆいづくり」関係事業
令和6年度事業実施報告
【警察本部生活安全部生活安全企画課 地域部地域課】

1 事業名	外国人を始めとする観光客等の安全確保	決算額
		千円
2 目的	外国人を始めとする入域観光客の安全確保は、観光産業等の基盤となるものであり、観光客が利用する施設や店舗、窓口等において防犯情報を提供するほか、事案発生時には、迅速的確に対応することができるよう諸対策を推進し、安全・安心な沖縄県の実現を目指す。	
3 実施時期	通年	
4 実施結果	(1) 観光施設や事業所等と連携した防犯情報の発信 観光客が多く利用するモノレール駅での乗車警戒、海浜及び周辺の駐車場における警戒を制服警察官が継続的に行い、車上ねらいや置き引き等の街頭犯罪未然防止活動を実施した。    (2) 外国人留学生等に対する防犯講話の実施 日本語学校等に通う外国人留学生や、企業への技術研修などで長期滞在している外国人を対象に、犯罪被害の未然防止を目的に各警察署が実施。   (3) 交番等における外国人への対応 ア コミュニケーション支援ボード等の活用（英語、中国語、ベトナム語等） イ 高度警察情報通信基盤システム（スマートフォン型端末）の通訳アプリの活用 ウ 交番、警察本部間ネットワークを活用した通訳職員による通訳 (4) 水難事故防止対策 ア 警察用船舶・パトカー・ヘリによる広報啓発活動 イ 空港や海浜等における関係機関と連携した広報活動 ウ 航空機内（JAL、JTA、ANA）アナウンス エ 外国人利用者の多い海浜において、多言語（英語、中国語、韓国語）による広報アナウンス	

	オ 旅行雑誌への広報啓発資料の掲載 カ P R 動画の制作、放映(国際通りストリートビジョンなど) キ 県警 YouTube 及び web 広告の活用  
5 効 果	(1) 留学生に対する防犯講話及び観光客等に対する広報活動により、滞在中の防犯・水難事故防止の意識を高めることができた。 (2) コミュニケーション支援ボード及び通訳アプリ等の活用により、外国人との迅速的確な初期対応が可能となった。
6 備 考	

「ちゅらゆいづくり」関係事業
令和 7 年度事業計画

【警察本部生活安全部生活安全企画課 地域課】

1 事業名	外国人を始めとする観光客等の安全確保（継続）	予算額
		— 千円
2 目的	外国人を始めとする入域観光客の増加は、今後も観光産業等の基盤となるものであり、これら観光客の事件・事故を未然に防止するため、観光客が利用する施設や店舗、窓口等において防犯情報を提供するほか、事案発生時には、迅速的確に対応することができるよう諸対策を推進し、安全・安心な沖縄県の実現を目指す。	
3 内容	(1) 観光施設や事業所等と連携した防犯情報の発信 例年、車上ねらいや置き引きなど観光客が被害に遭う事案が後を絶たないことから、観光客が立ち寄る機会の多い観光施設や、関係する事業所等と連携し、防犯情報を発信して被害を未然に防止する。 (2) 外国人留学生等に対する防犯講話 日本語学校等に通う外国人留学生や、企業への技術研修などで長期滞在している外国人は、自国の法律、文化や慣習の違いから被害者のみならず、加害者となる可能性もあることから、学校や受入れ企業に働き掛けを行うなどして防犯講話を行う。 (3) 交番等における外国人への対応 日本語を解せない外国人による各種届出等への対応に向けたスマートフォン型端末の通訳アプリ、コミュニケーション支援ボード、警察内ネットワークによる通訳機能の継続的な充実強化と活用 (4) 水難事故防止対策 令和 6 年度事業を継続するほか、新たな広報活動として、多言語の広報啓発グッズの作成、発信力のある著名人等を起用した PR 動画等の制作、放映等を予定。	
4 実施時期	通年	
5 効果	外国人を始めとする観光客等が必要とする防犯情報を発信することで、県内滞在中の犯罪被害回避能力を高めて、被害を未然に防止することができるほか、帰国後も沖縄の良好な治安環境が周知されることにより、沖縄県及び沖縄観光コンベンションビューローが推進する「ウェルカムんちゅ」運動と連動して、好調な観光産業を後押しする。	
6 備考		

**「ちゅらゆいづくり」関係事業
令和6年度事業実施報告**

【警察本部生活安全部生活安全企画課】

1 事業名	適正飲酒対策の推進	決算額
		— 千円
2 目的	多量飲酒等による事件・事故、健康障害、少年の飲酒問題等が様々な分野に悪影響を与えていることから、「アルコール関連犯罪の防止」対策を推進し、安全・安心な沖縄県の実現を図る。	
3 実施時期	通年	
4 実施結果	(1) 適正飲酒推進優良事業者認定制度の運用 令和6年度中、各地区安全なまちづくり推進協議会（各市町村の長が会長）による積極的な働きかけにより、5地区推進協議会から50事業所（令和6年度末時点）に認定証を交付。 平成31年1月28日以降、累計394事業所を優良事業者として認定。 (2) 関係機関と連携した情報発信 ○ ラジオ広報や大型ビジョン等を活用した情報発信 ○ 事業者等に対する適正飲酒講話 ○ 事業者と連携した広報啓発活動  【酒造所との広報活動】 (3) 飲酒が身体に与える影響等について児童生徒を対象とした非行防止教室の実施 (4) 風俗環境の浄化 ○ 店舗立入りによる適正飲酒の呼び掛け （那覇署、沖縄署管内の歓楽街を中心に繁華街対策を実施中） ○ 防犯ボランティア団体と連携したパトロール活動等   【防犯ボランティアとの合同パトロール活動】 (5) 福祉的支援に関する市町村への情報提供制度の運用 飲酒に絡む事件・事故等の取扱いによって把握した、行政機関による福祉的支援を必要とする者を、各市町村へ情報提供した。 ※ 令和6年12月末時点で4件の情報提供を実施。	
5 効果	適正飲酒推進優良事業者の認定、関係機関と連携した情報発信等により、県民に対して多量飲酒等が及ぼす様々な問題の周知及び適正飲酒の機運の醸成を図ることができた。	
6 備考		

「ちゅらゆいづくり」関係事業
令和 7 年 度 事 業 計 画

【警察本部生活安全部生活安全企画課】

1 事業名	適正飲酒対策の推進（継続）	予算額
		－ 千円
2 目的	多量飲酒等による事件・事故、健康障害、少年の飲酒問題等が様々な分野に悪影響を与えていることから、「アルコール関連犯罪の防止」対策を推進し、安全・安心な沖縄県の実現を図る。	
3 内容	(1) 適正飲酒推進優良事業者認定制度の運用 各地区安全なまちづくり推進協議会と連携して、適正飲酒推進優良事業者認定制度の普及促進を図ることで、県民、事業者等のアルコール関連犯罪防止対策についての機運を醸成する。 (2) 関係機関と連携した情報発信 多量飲酒、20 歳未満の者による飲酒等の不適切な飲酒が、健康被害に留まらず、事件・事故の当事者になる可能性が高まることから、アルコール関連犯罪防止対策の重要性について県民に周知する。 (3) 児童生徒を対象とした非行防止教室 将来の沖縄県を担う児童生徒に対し、飲酒による身体に与える影響等について、講話を通じて広く周知を図る。 (4) 風俗環境の浄化 アルコールに関連した犯罪や飲酒運転等の防止のほか、適正飲酒を推進するため、関係機関・団体と連携し、県内歓楽街の風俗環境浄化を図る。 (5) 福祉的支援に関する市町村への情報提供制度の運用 警察が飲酒に絡む事件・事故等の取扱いによって把握した福祉的支援の対象となる者について、対象者の住所地を管轄する市町村に対し、生活環境改善のために必要な情報提供を行う。	
4 実施時期	通年	
5 効果	(1) 飲酒絡み事件・事故、路上寝、泥酔保護等の減少 (2) 多量飲酒等の改善による県民の健康増進 (3) 将来の沖縄県を担う児童生徒の健全育成の実現 (4) 店舗営業時間の厳守を始め風俗環境浄化による多量飲酒や 20 歳未満の者による飲酒事案の改善	
6 備考		

「ちゅらゆいづくり」関係事業
令和 6 年度事業実施報告

【警察本部生活安全部生活安全企画課 生活福祉部生活安全安心課 教育庁保健体育課】

1 事業名	「ちゅらさん運動フェスティバル(防犯フェア 2024)」の開催	決算額
		656 千円
2 目的	犯罪のない安全で安心して暮らせる沖縄県の実現を目指し、県民を挙げて「ちゅらさん運動」を推進するため、防犯寸劇や自転車鍵掛け甲子園・子ども地域安全マップの表彰等を行い、県民の防犯意識の高揚と「ちゅらさん運動」の更なる普及・定着を図る。	
3 実施時期	令和 6 年 10 月 12 日 (土) 北中城村在 イオンモール沖縄ライカム 1 階グランドスクエア	
4 実施結果	(1) 主催者あいさつ (2) 琉球ゴールデンキングスダンススクールによるダンス (3) 小禄高校書道部によるパフォーマンス (4) 警察音楽隊ミニコンサート (5) 表彰 ア 第 10 回自転車鍵掛け甲子園 イ 第 18 回沖縄県子ども地域安全マップコンテスト  【開催状況】  【表彰】  【記念写真】 ※ 会場において、特殊詐欺被害防止広報チラシの配布やロックセキュリティ共同組合による防犯設備・器具の展示を実施。  【器具の展示】	
5 効果	受賞者を含め多くの県民が観覧したほか、イベントを通じて防犯意識の高揚を図り、「ちゅらさん運動」について広く周知した。	
6 備考		

「ちゅらゆいづくり」関係事業
令和 7 年 度 事 業 計 画

【警察本部生活安全部生活安全企画課 生活福祉部生活安全安心課 教育庁体育課】

1 事 業 名	「ちゅらさん運動フェスティバル（防犯フェア 2025）」の開催（継続）	予算額
		657 千円
2 目 的	犯罪のない、安全で安心して暮らせる沖縄県の実現を目指し、イベントを通して県民の防犯意識の高揚及び「ちゅらさん運動」の更なる普及・促進を図る。	
3 内 容	(1) ちゅらさん運動広報啓発活動 （警察音楽隊による演奏、チラシ等の配布） (2) 防犯アトラクション (3) 表彰 自転車鍵掛け甲子園（予定） 沖縄県子ども地域安全マップコンテスト（予定） (4) 防犯器具の展示	
4 実施時期	令和 7 年 10 月（予定）	
5 効 果	イベントを開催することで参加者や、来場者に対して「ちゅらさん運動」の周知を図ることができる。 防犯アトラクションや自転車鍵掛け甲子園・子ども地域安全マップコンテストの表彰を通して、児童生徒の犯罪被害回避能力や規範意識の向上が図られる。	
6 備 考		

「ちゅらゆいづくり」関係事業
令和 6 年度事業実施報告

【警察本部生活安全部生活安全企画課】

1 事業 名	防犯活動への支援（継続）	決算額																																										
		209 千円																																										
2 目 的	犯罪のない安全・安心な地域社会を実現する「ちゅらさん運動」の更なる普及・拡大を図るため、防犯ボランティア団体の防犯活動を支援し、自主防犯活動の活性化や地域の防犯リーダーを育成する。																																											
3 実施時期	通年																																											
4 実施結果	(1) 防犯グッズ支援状況 ア 防犯活動用帽子 50 個 イ 防犯パトロール用ベスト 50 枚 ウ 防犯マグネットシート 20 枚 エ 防犯腕章 130 枚 (2) 防犯ボランティア研修会の開催 ア 日時・場所 日時：令和 6 年 8 月 9 日（金）午後 2 時から午後 4 時までの間 場所：那覇市首里在「沖縄県総合福祉センター 5 階」501 教室 イ 受講者 ・ 沖縄県自主防犯ボランティア団体連絡協議会会員等 ・ 学生（名桜大学、専門学校那覇日経ビジネス） ウ 研修内容 自主防犯活動の更なる活性化を図り、安全・安心なまちづくりの取組を効果的に推進するため、自主防犯ボランティア団体連絡協議会会員及び学生等を対象とした研修会をワークショップ形式で実施。 ○ 防犯ボランティアの後継者育成の解決に向け SNS を活用した活動内容の発信について検討を実施																																											
5 効 果	防犯ボランティア団体が必要とする物品を支援することで、防犯活動が活性化され、「ちゅらさん運動」の普及・拡大が図られた。																																											
6 備 考	(1) 防犯ボランティア団体の推移 <table><tr><td>区分</td><td>R1</td><td>R2</td><td>R3</td><td>R4</td><td>R5</td><td>R6</td></tr><tr><td>団体数</td><td>596</td><td>585</td><td>550</td><td>540</td><td>501</td><td>483</td></tr><tr><td>構成員数</td><td>17,122</td><td>17,003</td><td>17,603</td><td>17,297</td><td>16,276</td><td>13,998</td></tr></table> (2) 青色回転灯車両の推移 <table><tr><td>区分</td><td>R1</td><td>R2</td><td>R3</td><td>R4</td><td>R5</td><td>R6</td></tr><tr><td>団体数</td><td>383</td><td>372</td><td>377</td><td>372</td><td>331</td><td>323</td></tr><tr><td>車両台数</td><td>700</td><td>712</td><td>827</td><td>687</td><td>697</td><td>660</td></tr></table> ※ 防犯ボランティア研修会 平成 17 年度から開催されているが、令和 2 年、3 年度は新型コロナウイルスのため未開催。		区分	R1	R2	R3	R4	R5	R6	団体数	596	585	550	540	501	483	構成員数	17,122	17,003	17,603	17,297	16,276	13,998	区分	R1	R2	R3	R4	R5	R6	団体数	383	372	377	372	331	323	車両台数	700	712	827	687	697	660
区分	R1	R2	R3	R4	R5	R6																																						
団体数	596	585	550	540	501	483																																						
構成員数	17,122	17,003	17,603	17,297	16,276	13,998																																						
区分	R1	R2	R3	R4	R5	R6																																						
団体数	383	372	377	372	331	323																																						
車両台数	700	712	827	687	697	660																																						

「ちゅらゆいづくり」関係事業
令和 7 年 度 事 業 計 画

【警察本部生活安全部生活安全企画課】

1 事 業 名	防犯活動への支援（継続）	予算額
		468 千円
2 目 的	犯罪のない安全・安心な地域社会を実現する「ちゅらさん運動」の更なる普及・拡大を図るため、防犯ボランティア団体の防犯活動を支援し、自主防犯活動の活性化や地域の防犯リーダーを育成する。	
3 内 容	防犯ボランティア団体の結成及び県警察から貸与した活動装備品の減耗に伴い、新たに活動装備品を購入して貸与するほか、防犯ボランティア研修会等を開催する。	
4 実施時期	通年	
5 効 果	(1) ちゅらさん運動の普及、拡大 (2) 防犯活動の活性化による地域の絆の強化 (3) 防犯ボランティア団体の金銭的負担軽減	
6 備 考	(1) 令和 7 年度防犯装備品配布予定 ・ 防犯活動用帽子 30 着予定 ・ 防犯用パトロールベスト 30 着予定 ・ 防犯マグネットシート 30 枚予定 ・ 青色回転灯 15 個予定 (2) 防犯装備品の配布状況 ・ 防犯活動用帽子 8,950 着 (平成 16 年度～令和 6 年度) ・ 防犯パトロール用ベスト 8,993 着 (平成 16 年度～令和 6 年度) ・ 青色回転灯 870 個 (平成 17 年度～令和 4 年度) ・ L E D ライト 250 本 (令和元年度) ・ 防犯マグネットシート 2,902 枚 (平成 17 年度～平成 30 年度、令和 4 年度～令和 6 年度) ・ 懐中電灯 290 個 (平成 22 年度、令和 5 年度) ・ P R シート 200 枚 (平成 23 年度) ・ 青色合図灯 355 本 (平成 27 年度、平成 30 年度、令和 4 年度) ・ 防犯腕章 110 枚 (令和 5 年度～令和 6 年度) ・ 登下校見守りオリジナルコースター 500 枚 (平成 30 年度) (3) 防犯ボランティア研修会の開催（予定）	

「ちゅらゆいづくり」関係事業
令和6年度事業実施報告

【(公財)沖縄県防犯協会連合会】

1 事業名	防犯ポスター・標語・青パト活動写真の募集	決算額																																	
		75 千円 ※ポスター制作費																																	
2 目的	沖縄県防犯協会と各地区推進協議会が連携した事業を実施し、児童・生徒を始めとした県民一人一人の防犯意識の高揚を図ることを目的とする。																																		
3 実施時期	令和6年3月4日～令和6年5月13日までの間																																		
4 実施結果	(1) 募集テーマ 【ポスター】・・・様々なかたちの防犯ボランティア活動 ～見守りやサイバーパトロールなど～ 【青パト写真】・・・青色回転灯等装備車の活躍 【標語】・・・暴力団のいない社会づくり (2) 応募総数 ポスター (53 点) 青パト活動写真 (33 点) 標語 (1,168 点) (3) 審査会 令和6年6月10日 有識者を交えて実施 (4) 審査結果 【ポスター】 <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 30%;">最優秀</td><td style="width: 40%;">宜野湾市立普天間中学校3年</td><td style="width: 30%;">やりみぞ あかり 鍾溝 朱里</td></tr> <tr> <td>優 秀</td><td>沖縄県具志川商業高等学校2年</td><td>きんじょう りんた 金城 凜奈</td></tr> <tr> <td>佳 作</td><td>宜野湾市立普天間第二小学校2年</td><td>やりみぞ めり 鍾溝 芽里</td></tr> <tr> <td>佳 作</td><td>北谷町立北谷中学校2年</td><td>とけし ゆづき 渡慶次 佑月</td></tr> <tr> <td>佳 作</td><td>宮古島市立西辺中学校3年</td><td>うちさわ ななみ 内澤 七海</td></tr> </table> 【青パト写真】 <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 30%;">最優秀</td><td style="width: 40%;">沖縄写真デザイン学校</td><td style="width: 30%;">あらかわ はると 新川 暖人</td></tr> </table> 【標語】 <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 30%;">最優秀</td><td style="width: 40%;">地域の輪 スクラム組んで 暴力排除 宮古島市立西辺小学校6年</td><td style="width: 30%;">なかそね しやうへい 仲宗根 翔平</td></tr> <tr> <td>優 秀</td><td>地域の目 暴力排除の まちづくり 宜野湾市立宜野湾中学校3年</td><td>こめす あゆむ 米須 結歩</td></tr> <tr> <td>佳 作</td><td>暴力団 排除でつながる 地域の平和 糸満市立糸満中学校1年</td><td>ざまみ こいね 座間味 尚</td></tr> <tr> <td>佳 作</td><td>暴力団 おそれず追放 地域の輪 宜野湾市立宜野湾中学校2年</td><td>はねじ わかな 羽地 和歌奈</td></tr> <tr> <td>佳 作</td><td>暴力団阻止 みんなで実現 平和な街 宮古島市立城東中学校2年</td><td>たけの ゆきと 竹野 倅永</td></tr> </table>		最優秀	宜野湾市立普天間中学校3年	やりみぞ あかり 鍾溝 朱里	優 秀	沖縄県具志川商業高等学校2年	きんじょう りんた 金城 凜奈	佳 作	宜野湾市立普天間第二小学校2年	やりみぞ めり 鍾溝 芽里	佳 作	北谷町立北谷中学校2年	とけし ゆづき 渡慶次 佑月	佳 作	宮古島市立西辺中学校3年	うちさわ ななみ 内澤 七海	最優秀	沖縄写真デザイン学校	あらかわ はると 新川 暖人	最優秀	地域の輪 スクラム組んで 暴力排除 宮古島市立西辺小学校6年	なかそね しやうへい 仲宗根 翔平	優 秀	地域の目 暴力排除の まちづくり 宜野湾市立宜野湾中学校3年	こめす あゆむ 米須 結歩	佳 作	暴力団 排除でつながる 地域の平和 糸満市立糸満中学校1年	ざまみ こいね 座間味 尚	佳 作	暴力団 おそれず追放 地域の輪 宜野湾市立宜野湾中学校2年	はねじ わかな 羽地 和歌奈	佳 作	暴力団阻止 みんなで実現 平和な街 宮古島市立城東中学校2年	たけの ゆきと 竹野 倅永
最優秀	宜野湾市立普天間中学校3年	やりみぞ あかり 鍾溝 朱里																																	
優 秀	沖縄県具志川商業高等学校2年	きんじょう りんた 金城 凜奈																																	
佳 作	宜野湾市立普天間第二小学校2年	やりみぞ めり 鍾溝 芽里																																	
佳 作	北谷町立北谷中学校2年	とけし ゆづき 渡慶次 佑月																																	
佳 作	宮古島市立西辺中学校3年	うちさわ ななみ 内澤 七海																																	
最優秀	沖縄写真デザイン学校	あらかわ はると 新川 暖人																																	
最優秀	地域の輪 スクラム組んで 暴力排除 宮古島市立西辺小学校6年	なかそね しやうへい 仲宗根 翔平																																	
優 秀	地域の目 暴力排除の まちづくり 宜野湾市立宜野湾中学校3年	こめす あゆむ 米須 結歩																																	
佳 作	暴力団 排除でつながる 地域の平和 糸満市立糸満中学校1年	ざまみ こいね 座間味 尚																																	
佳 作	暴力団 おそれず追放 地域の輪 宜野湾市立宜野湾中学校2年	はねじ わかな 羽地 和歌奈																																	
佳 作	暴力団阻止 みんなで実現 平和な街 宮古島市立城東中学校2年	たけの ゆきと 竹野 倅永																																	

5 効 果	「様々なかたちの防犯ボランティア活動」のポスター及び青色回転灯装備車の活動中の青パト写真の最優秀作品については、令和6年10月11日から10月20日まで実施された「全国地域安全運動」の広報・啓発用ポスターに使用し、自治体を始めとする関係機関に掲示を依頼し、防犯意識の高揚を図った。
6 備 考	ポスター及び青パト写真の各入賞者に対する表彰は、令和6年10月21日に、沖縄県警察本部で開催された「防犯功労者・防犯功労団体、全国地域安全運動ポスター・青パト活動写真入賞作品表彰式」において表彰を行った。 なお、標語（暴力団のいない社会づくり）については、暴力団追放沖縄県民会議が受賞者の学校に赴き表彰した。

「ちゅらゆいづくり」関係事業
令和 7 年 度 事 業 計 画

【(公財)沖縄県防犯協会連合会】

1 事 業 名	防犯ポスター・標語・青パト活動写真の募集（継続）	予算額
		千円
2 目 的	沖縄県防犯協会連合会と各地区推進協議会が連携して事業を実施し、児童・生徒を始めとした県民一人一人の防犯意識の高揚を図ることを目的とする。	
3 内 容	(1) ポスター・青色回転灯等装備車の活躍写真及び標語の募集 令和 7 年の課題は、現時点未定（本年 1 月 8 日時点） 参考～令和 6 年の課題 【ポスター】 様々なかたちの防犯ボランティア活動 ～見守りやサイバーパトロールなど～ 【青パト写真】 青色回転灯装備車等の活躍 【標語】 暴力団のいない社会づくり (2) 応募資格 制限なし (3) 審査方法等 ○ 各地区防犯協会を窓口として、各地区単位に警察署と地区防犯協会で審査を行い、地区代表作品を選出する。 ○ 沖縄県防犯協会連合会において、地区選出作品を審査会でテーマごとに審査して入賞作品を決定する。 入賞者については、沖縄県警察本部長、沖縄県防犯協会連合会会長連名表彰を授与する。 (4) 全国防犯協会連合会の審査会へ応募 入賞作品については、沖縄県代表作品として全防連の審査会へ応募する。 (5) ポスターを製作及び防犯広報活動に活用 ポスター及び青色回転灯等装備車の活躍写真の最優秀作品については、10 月に実施する「全国地域安全運動」用の県内向けポスターを製作し、防犯広報活動に活用する。	
4 実施時期	令和 7 年 3 月頃から 5 月下旬頃までを予定	
5 効 果	応募者自身が、安全・安心なまちづくりについて考える機会となり、「ちゅらさん運動」等に関心を持つことにつながる。 また、「全国地域安全運動」の際、入賞作品をポスターにして県内各地に掲示することにより、県民の防犯意識の高揚を図ることができる。	
6 備 考		

「ちゅらゆいづくり」関係事業

令和 6 年度 事業実施報告

【（一社）沖縄観光コンベンションビューロー】

1 事業名	安全な沖縄観光地づくり事業 (沖縄県からの受託事業)	予算額 6,405 千円
2 目的	観光客の安全性を確保するため、予防対策の推進と関係機関と連携した課題解決に努めるとともに、台風時の安全対策など安全・安心な観光地を推進すること、観光客に安全・安心に観光をしてもらうことを目的に注意喚起等をまとめた啓発物を配布する。	
3 実施時期	通年	
4 実施結果	(1) 各種ツールの配布 タビナカにおける観光客へ安全安心ガイドを周知するため「安全安心ガイド」を、台風により影響を受けた観光客の利便性向上を図るため、台風に関する情報や台風接近時の対応についてまとめた「台風対策マニュアル」を配布した。 〈部数〉 「安全安心ガイド」約 11,700 部 内訳：日本語 8,000 部、英語 2,500 部、繁体字・韓国語各 640 部 「台風対策マニュアル」約 2,400 部 〈配布先〉 ・台風時観光客対策協議会構成機関 ・沖縄県観光協会等協議会構成機関 ・観光関連団体・事業者（観光案内所、旅行業者、宿泊事業者等） ・その他、OCVB 交流サロン、当財団へ直接資料請求のあった一般の方など ※web サイト「おきなわ物語」内、「沖縄観光パンフレットギャラリー」からダウンロードも可能 (2) 観光客への注意喚起等情報発信 観光関連事業者に向けて、OCVB コーポレートサイトでの発信と、賛助会員メルマガ・ツーリズム産業団体協議会・観光協会等協議会へのメール配信を行った。また、観光客向けには、観光情報 WEB サイト沖縄物語にて発信を行った。 〈情報発信事例〉 ①沖縄地方への津波警報に関する情報発信 ②ハブクラゲによる被害の注意喚起 ③沖縄本島北部豪雨災害に関する注意喚起	

5 効 果	多発する水難事故の状況を受け、改めて“安全・安心・快適な観光地”として発信する必要性が高まり、ガイドブックを通じた情報発信を中心に事業を行った。また、沖縄地方への津波警報に関する情報発信など、観光客の安全確保につながる情報も随時発信を行った。引き続きツールの内容をブラッシュアップするとともに、情報が届くような手法の検討に努めた。
6 備 考	

「ちゅらゆいづくり」関係事業

令和 7 年 度 事 業 計 画

【（一社）沖縄観光コンベンションビューロー】

1 事 業 名	安全な沖縄観光地づくり事業 (沖縄県事業)	予算額
2 目 的		
3 内 容		
4 実施時期		
5 効 果		
6 備 考	当該事業については沖縄県からの受託事業であり、令和 7 年度については受託なし。	

**「ちゅらゆいづくり」関係事業
令和6年度事業実施報告**

【県警本部警務部広報相談課 生活福祉部生活安全安心課 (公社) 沖縄被害者支援ゆいセンター】

1 事業名	「犯罪被害者支援を考える県民の集い」の開催結果	決算額
		－ 千円
2 目的	毎年11月25日から12月1日は、「犯罪被害者週間」と定められ、全国一斉に広報啓発活動を実施している。 当県においても、より多くの県民の理解と支援の輪を広げる目的で、「街頭キャンペーン」などを実施している。	
3 実施時期	令和6年11月25日(月) (犯罪被害者週間初日)	
4 実施結果	(1) 日時 令和6年11月25日(月) 午後2時から午後4時30分の間 (2) 場所 西原町字与那城140番地の1 さわふじ未来ホール (3) 共催 沖縄県・沖縄県警察本部・(公社) 沖縄被害者支援ゆいセンター (4) 第一部 ○ 主催者代表あいさつ 沖縄県生活福祉部長 ○ ビデオメッセージ 内閣総理大臣 ○ 県の取組状況説明 沖縄県生活安全安心課 ○ 講演 東京都池袋における交通死亡事故御遺族 課題「交通事故と被害者支援」 松永 拓也 氏 ～ ひとりじゃない ～ 上原 義教 氏 (5) 第二部 アトラクション ○ 西原高校マーチングバンド部によるマーチング演奏 (6) 参加者約250名	
5 効果	○ 県外からも多数のマスコミが参加して、全国紙にも取り上げられた。 ○ 参加者からは ・命の尊さを改めて感じた。日頃から周りの人の大事さと感謝を忘れずにしたい。 ・被害者の声を聴いて、日々の何気ない言葉や態度が二次被害になったり、SNSでの誹謗中傷について全員で考えないといけないと感じた。 ・被害者の二重、三重の苦しみ、これを支える被害者支援の重要性を強く感じた。寄り添い、ありのまま認める、全ての命は尊い。 等の感想があった。	
6 備考	○ 開場から開催までの間は、警察音楽隊によるオープニングアクトを実施、ロビーでは、犯罪被害者支援パネル展・生命のメッセンジャー展を開催した。	

「ちゅらゆいづくり」関係事業
令和 7 年 度 事 業 計 画

【警察本部警務部広報相談課 生活福祉部生活安全安心課 (公社) 沖縄被害者支援ゆいセンター】

1 事 業 名	「犯罪被害者支援を考える県民の集い」の実施について	予算額
		— 千円
2 目 的	毎年11月25日から12月1日の「犯罪被害者週間」行事として、「犯罪被害者支援を考える県民の集い」を開催し、社会全体で犯罪被害者等を支える意識の高揚を図るとともに、被害者等の犯罪被害からの早期回復、軽減が図れるよう配慮の重要性等について理解を深める。	
3 内 容	「犯罪被害者支援を考える県民の集い」 (1) 主催者あいさつ (2) 第1部 「基調講演～被害者の声」 犯罪被害者等 (3) 第2部 ミニコンサート等	
4 実施時期	11月25日から12月1日までの「犯罪被害者週間」前後の日程で実施予定	
5 効 果	参加者からは、多くの人に「被害者の声」を聴いて貰いたいとの反響があることから、継続して「県民の集い」を開催する必要がある。	
6 備 考	令和6年度は、5年ぶりに県民の集いとパネル展及びメッセージャーを展示して好評だったことから、令和7年度においても、県民の集いを開催して広報啓発活動を実施したい。	

**「ちゅらゆいづくり」関係事業
令和6年度事業実施報告**

【生活福祉部生活安全安心課（公社）沖縄被害者支援ゆいセンター】

1 事業名	犯罪被害者支援に関する市町村「出前講座」及び「法律相談」の開催結果	決算額
		－ 千円
2 目的	「犯罪被害者支援」の重要性及び被害者等の置かれた立場への理解と関心を高めるとともに、犯罪被害者等の居住する市町村においても、被害者個々のニーズに応じた多様な支援サービスを連携して行う必要があるため、各市町村において「出前講座」と併せて弁護士による「法律相談」を行う。	
3 実施時期	令和6年度4月以降	
4 実施結果	(1) 那覇市役所（市民生活安全課等） ○ 開催日時：令和6年8月28日(水) 午後1時30分から午後3時30分 ○ 講座内容：関係機関との連携のポイント（ビデオ） ：関係機関との連携の支援事例紹介 ：沖縄被害者支援ゆいセンターの活動・役割について ：弁護士による被害者支援について（弁護士） ○ 参加者：課職員 12名 ○ 開催結果：被害者や被害者支援のイメージが持てて良かった。 被害者に対する支援や相談を受け話を聞く大変さ、相談先に迷ったときはゆいセンターに連絡しようと思います。 との意見があった。	
5 効果	参加者からは ○ 繋ぐことの大切さを改めて学びました。 ○ 様々な関係機関と日頃から連携することの大切さを実感しています。 必要な時に適切な窓口を案内できるように知識と最新の情報を得られるようにしていきたい。 ○ 途切れのない支援の大切さ改めて大事だと感じました。 等の意見があり、充実した講座で被害者支援への相談員の意識も高まった。	
6 備考	未実施の市町村において実施したい。	

「ちゅらゆいづくり」関係事業
令和 7 年度 事業 計 画

【生活福祉部生活安全安心課 （公社）沖縄被害者支援ゆいセンター】

1 事業名	犯罪被害者支援に関する市町村「出前講座」及び「法律相談」の開催	予算額 － 千円
2 目的	県内市町村職員等に対し、「犯罪被害者支援」の重要性及び被害者等の置かれた立場への理解と関心を高めるとともに、犯罪被害者等の居住する市町村において、被害者個々のニーズに応じた多様な支援サービスを連携して行う必要があるため講座を開催する。 併せて、弁護士による「被害者支援についての講座」又は「無料法律相談」を実施する。	
3 内容	(1) 出前講座 ア 被害者支援の必要性と関係機関との連携及び事例紹介について イ 仮想事例を元にしたグループ討議及び支援活動の実態等 ウ 弁護士による被害者支援について(講座) ※ 個別の法律相談の申込がある場合には、法律相談へも対応する。	
4 実施時期	1年間を通じて、開催を希望する市町村において開催予定。	
5 効果	被害者の居住する市町村においても犯罪被害者を支援する義務があるとの認識を新たにするとともに、沖縄県犯罪被害者早期援助団体「沖縄被害者支援ゆいセンター」について広報することで、センターと関係機関が連携し、何処にいても等しく支援が受けられる体制づくりを構築する。	
6 備考	令和7年度も、より多くの市町村において、積極的に開催する。	

「ちゅらゆいづくり」関係事業
令和 6 年度事業実施報告

【文化観光スポーツ部観光振興課】

1 事業名	観光危機管理体制構築支援事業（継続）	決算額
		28,445 千円
2 目的	観光地としての安全・安心を確保するため、国、市町村、OCVB、地域観光協会、観光業界と連携して観光危機に関する先導的な取組を実施し、県内各地に波及、拡大を図る。	
3 実施時期	令和6年度	
4 実施結果	(1)帰宅支援対策図上訓練 震度 6 強の地震・津波被害を想定し、空港・港等の機能が失われた状態から、観光客を帰宅させるまでのオペレーションについて、関係機関（国、県、市町村、OCVB、観光関連団体等）を交えて訓練を行った。 ・日時：令和 6 年 11 月 12 日（火）9:00～17:00 ・場所：沖縄空手会館 ・参加者：63 団体 185 名（国・県・市町村・OCVB・観光関連団体等） ・内容：シェイクアウト（初動対応）、帰宅支援対応訓練、講評 (2)市町村における観光危機管理対応勉強会の実施 観光危機の減災対策、観光客への情報発信・避難誘導・安全確保、帰宅困難者対策に関する勉強会の実施 沖縄本島全域（北部・中部・南部 5 月） 宮古・八重山圏域（7 月） 久米島（10 月） (3)市町村及び観光関連事業者体制強化支援 市町村に対する観光危機管理計画の策定及び見直し、観光関連団体に対する事業継続計画（BCP）などの策定及び見直しを目的としたワークショップ型勉強会を実施中。（令和 7 年 1 月 21 日～24 日の 4 日間）	
5 効果	(1)帰宅支援対策図上訓練 ・航空機による輸送能力に限られる中、大規模災害時における観光客を安全・安心に帰宅させるため、滞在場所の確保や情報発信、移動手段の検証を行った。 ・多くの参加者同士で直接議論を深めることにより、関係機関の役割や課題等について、共通認識を持つことができた。 (2)市町村及び観光関連事業者体制強化支援・勉強会の実施 市町村・観光関連団体における観光危機管理意識の醸成を図り、各機関の BCP 等の作成・見直しに寄与する。	
6 備考		

(様式2)

「ちゅらゆいづくり」関係事業
令和7年度事業計画

【文化観光スポーツ部観光振興課】

1 事業名	観光危機管理体制構築支援事業（継続）	予算額
		28,445 千円
2 目的	観光地としての安全・安心を確保するため、国、市町村、OCVB、地域観光協会、観光業界と連携して観光危機に関する先導的な取組を実施し、県内各地に波及、拡大を図る。	
3 内容	(1) 観光危機管理体制運用図上訓練 観光危機発生時において、各機関(国、県、市町村、OCVB、観光関連団体)が役割と行動を認識し、連携して対応できることを目的とした観光危機管理体制運用図上訓練を実施する。 (2) 市町村及び観光関連事業者体制強化支援 市町村に対する観光危機管理計画の策定及び見直し、観光関連団体に対するBCPなどの策定及び見直しを目的とした勉強会を実施する。	
4 実施時期	令和7年度	
5 効果	(1) 観光危機管理体制運用図上訓練 観光危機発生時において、各機関(国、県、市町村、OCVB、観光関連団体)が役割と行動を認識し、連携した上での対応力向上が期待できる。 (2) 市町村及び観光関連事業者体制強化支援 市町村・観光関連団体における観光危機管理意識の醸成を図り、各機関のBCP等の作成・見直しに寄与することが期待できる。	
6 備考		